

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	医療政策課長 家本 賢	電話番号	0852-22-6252
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	離島医療の充実のための事業		
目的	(1) 対象	医療機関	
	(2) 意図	隠岐地域において中核的役割を担う医療機関の医療機能を確保する。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・隠岐広域連合に対して円滑な活動を図るために負担金を支出する ・隠岐病院、隠岐島前病院に対して適切な運営を図るため負担金を支出する 		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		2.00	2.00	2.00	
式・定義	隠岐地域の救急告示病院数	実績値	2.00	2.00	2.00	2.00		施設
	隠岐地域の救急告示病院数	達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	隠岐地域の地域医療拠点病院数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	目標値		2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	施設
式・定義	隠岐地域の地域医療拠点病院数	実績値	2.00	2.00	2.00	2.00		施設
	隠岐地域の地域医療拠点病院数	達成率		100.00	100.00	100.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	117,606	145,455
うち一般財源(千円)	117,606	145,455

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

隠岐病院及び隠岐島前病院における必要な施設改修や医療資機材の整備を実施し、機能強化を図っている

6. 成果があったこと（改善されたこと）

隠岐広域連合の運営に構成員として参画し、運営費及び隠岐病院の建替え整備等に対する負担を行い、離島地域の医療提供を確保している

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・医師、看護師ほか医療従事者の慢性的な不足

②困っている状況が発生している「原因」

- ・離島医療のPR不足
- ・地元生徒・児童や地元出身の医療系学生に対するUターン対策の不足

③原因を解消するための「課題」

- ・医療従事者確保対策の強化
- ・本土との搬送体制やICT等の連携強化

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・医療を志す地元生徒・児童への働きかけや、大学等教育機関との連携を強化し、医療従事者確保対策を進めていく
- ・防災ヘリやドクターヘリによる広域患者搬送体制の強化やICTによる情報連携の充実を引き続き図っていく

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）